

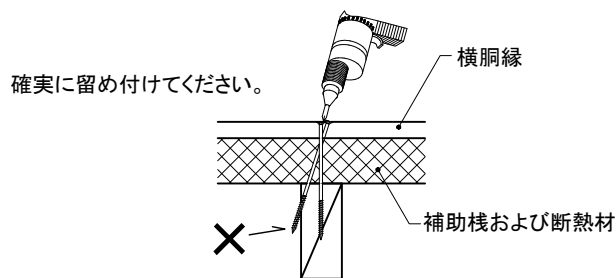
外張り断熱工法

断熱厚50mm超～100mm以下
横胴縁 限定基準

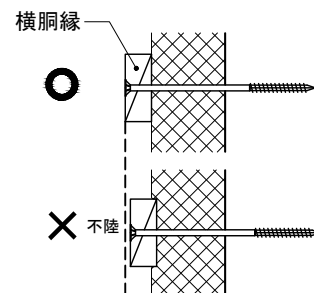
1-9 横胴縁仕様 各部の規定

1) その他の注意点

- ①防水紙は、断熱材の上に防水テープなどで施工します。
(気密シート・気密テープなどは断熱材各社の仕様によります。)
- ②開口部まわりは防水テープによる止水処理を必ず行ってください。
- ③胴縁を留め付ける際は、柱・間柱の位置を確認し、留付ビスの外れには十分注意してください。
胴縁の端あき距離は10mm以上確保し、胴縁が割れた場合は、打ち直してください。
また、断熱材部の胴縁においては、留付ビスの締め付けすぎによる胴縁の沈み込みに注意してください。
(胴縁面に不陸が生じます。)



留付ビスが外れると、十分な留付強度が確保できません。



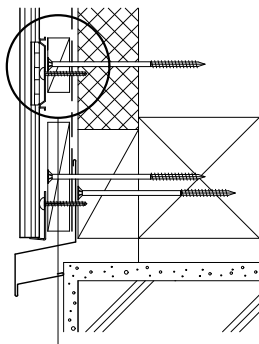
胴縁の不陸によって、モエンに影響がでることがあります。

- ④金具施工の場合、モエンの上端部・下端部とも、必ず補助材・横棧に留め付けられた横胴縁に金具留めしてください。

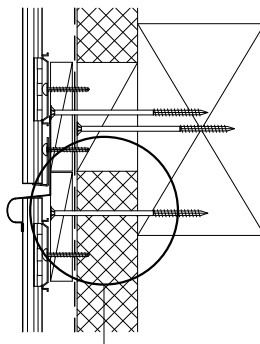


注意 不適切な例

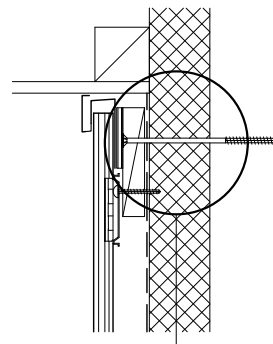
モエンの上下端部どちらか片方でも有効な留め付けがなされていない施工はしないでください。



× モエン下端部の金具留め位置が不適切。



× モエン上端部の金具留めされている胴縁の下地(補助材・横棧)がない。



× モエン上端部の金具留めされている胴縁の下地(補助材・横棧)がない。